

統合小学校建設だより

第8号

郷土と共に自己を磨き 未来に向けて夢をかなえる人づくり

令和6年1月26日
川上村教育委員会

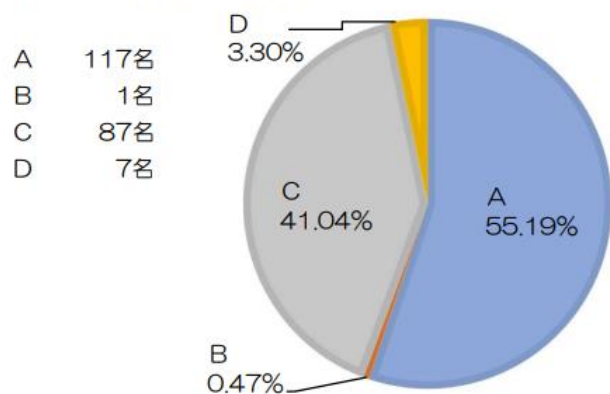
1月23日（火）、第16回「統合小学校建設委員会」が開催され、以下の内容について各部会より報告がありました。

○「学校生活検討部会」 令和5年12月5日（火）、第2回「学校生活検討部会」の検討内容について

- (1) 「登校時の服装及び校内での生活着」に係るアンケートを、かわかみ保育園保護者、川上第一小学校保護者及び教職員、川上第二小学校保護者及び教職員を対象として、令和5年10月27日から令和5年11月10日を調査期間として実施しました。
- アンケートの結果は、「私服で登校、校内生活着は私服で過ごし、体育の時だけ指定運動着に着替える」という回答が、「指定運動着で登校、終日運動着で過ごす」という回答より、やや上回る結果となりました。これは決定ではなく、今後、学校がアンケート結果をもとに考察し、決定していく際の資料となります。

1 統合小学校における児童の登校時の服装及び校内生活着について、ふさわしいと思うものにチェックしてください。

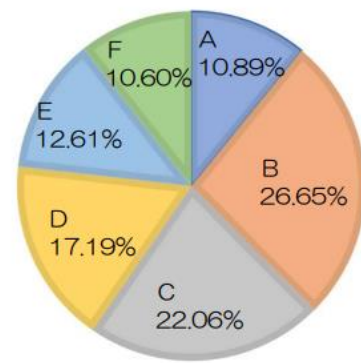
- A 私服で登校、校内生活着は私服で過ごし、体育の時だけ指定運動着に着替える。
B 私服で登校、登校後は終日指定運動着で過ごし、下校時に私服に着替える。
C 指定運動着で登校、終日指定運動着で過ごす。
D 上記のどれにも該当しない。



2 上記を選んだ理由で、一番お考えに近いものにチェックしてください。（複数回答可）

- A 私服で登校する方が小学校にふさわしい。
B 体育など場に応じた服装をすることで生活習慣を身につけさせたい。
C 運動着登校だと私服に気を払うなどの手間が省ける。
D 運動着登校の方が経済的である。
E 運動着登校で運動着を常時身に付けていると衛生面に不安がある。
F 運動着に着替える方法だと持ち帰らず洗濯できないことがある。

A	38名
B	93名
C	77名
D	60名
E	44名
F	37名



- (2) その他、学校生活に係ることとして、「小学校と中学校の施設利用範囲について」「給食時のランチルーム・配膳用ワゴンの活用について」「小学校・中学校の清掃のあり方について」話し合いましたが、これらについて学校運営の内容として学校判断に任せることとしました。

○「地域連携検討部会」

令和5年11月21日（火）-第1回、12月22日（金）-第2回「地域連携検討部会」の検討内容について

- (1) スクールバス関係について
- ・中学校のスクールバス利用範囲に準ずることによりと思われるが、樋沢野辺山地区も配慮するように検討していただきたい。
 - ・スクールバスは、バス会社など外部委託やその他の方法も含めて検討していただきたい。
 - ・スクールバスの乗車場所は、村営バスのバス停を中心に設定し、梓山地区は公民館敷地内一か所の方が安全ではないか。
 - ・低学年の降車の際には、バス運転手も安全確認を行う方策が必要ではないか。
- (2) 通学路関係について
- ・実情に合わせた通学路の設定が必要であるが、設定の際は、安全点検を行い危険個所の把握をした上で設定していただきたい。また、県道は可能な限り利用しない方向が望ましい。
 - ・原地区は、千曲川沿いの道とヘルシーパークに向かう道の双方を考えていただきたい。ただし、農作業車の通行があるため、安全確保については周知を徹底していただきたい。
 - ・除雪や草刈など、PTAが中心となって実施することが可能と考えられる。今後は中学校の参加も検討していただきたい。また同時に、地域を巻き込んでいくことも検討していただきたい。
 - ・上地区では通学路の変更が予想されるので、変更する際は十分な検討をお願いしたい。
- (3) 安全対策（ヘルメット）について
- ・現状を継続し、季節によりヘルメット以外も良いものとして検討していただきたい。
- (4) コミュニティースクールの運営について
- ・基本構想にある小中合同の組織とし、小中一貫教育に寄与する組織となるように検討していただきたい。
 - ・コーディネーターや連絡員の人選については、密接な連携が可能となる方を検討していただきたい。
 - ・コミュニティースクールについて、地域における認知度の向上を検討していただきたい。